

## 研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-141	A-169	20-409	手稲溪仁会病院 白坂知彦 独立行政法人国立病院機久里浜医療センター 松下幸生
<b>題名 (原題/訳)</b>			
The Changing Landscape of Alcohol Use and Alcohol Use Disorder During the COVID-19 Pandemic - Perspectives of Early Career Professionals in 16 Countries COVID-19 パンデミック中のアルコール使用とアルコール使用障害の変化する状況-16 各国の初期のキャリア専門家の展望			
<b>執筆者</b>			
Calvey T, Scheibein F, Saad NA, Shirasaka T, Dannatt L, Stowe MJ, Shah B, Narasimha VL, Bruschi A, Peyron E, Gumikiriza-Onoria JL, Ghosh A, Pant SB, Yee A, Ratta-Apha W, Vadivel R, Siste K, Maiti T, Boujraf S, Grandinetti P, Morgan N, Arya S.			
<b>掲載誌</b>			
J Addict Med. 2020 Dec;14(6):e284-e286. doi: 10.1097/ADM.0000000000000735.			
<b>キーワード</b>			<b>PMID</b>
依存精神医学、アルコール禁止、アルコール使用障害、COVID-19、初期のキャリアの専門家、グローバルヘルス			32909983
<b>要旨</b>			
<p>アルコールの使用は感染症の主要な危険因子であり、COVID-19 パンデミックなどの人道的危機の際には、アルコール摂取に関連する害の軽減が不可欠です。依存症医学の分野で働く初期のキャリア専門家ネットワーク (network of early career professionals working in the area of addiction medicine) として、私たちは、COVID-19 中のアルコール関連の危害の軽減とアルコール使用障害のある人々のケアに関連する国の行動に関する見解を提供します。COVID-19 関連の対策は、この解説に示されている大多数の国でアルコール消費に影響を与えていると私たちは信じています。これらの変化の例には、アルコール消費パターンの変化、アルコール離脱症候群の症例の増加、アルコール使用障害の医療へのアクセスの混乱、およびアルコールの違法生産の増加が含まれます。私たちのメンバーは、物質使用による急性および重度の状態の治療は、COVID-19 のような人道的危機の時に不可欠なサービスと見なされるべきであると主張した。</p>			